第１回重点支援都道府県管内市町村研修会の実施概要

重点支援都道府県（10か所）管内の市町村を対象として、令和８年８月４日～９月28日に第１回市町村研修会を実施し、計426名が参加しました。

1 開催実績（重点支援支援都道府県10か所）

都道府県	開催日	参加者（名）
神奈川県	8月4日（火）	32
島根県	8月10日（月）	37
茨城県	8月19日（水）	75
沖縄県	8月31日（月）	45
和歌山県	9月1日（火）	43
大阪府	9月9日（水）	50
徳島県	9月14日（月）	28
愛媛県	9月15日（火）	37
京都府	9月24日（木）	49
栃木県	9月28日（月）	30
10府県計	**8月4日～9月28日**	**426名**

2 研修プログラム

目的　ダッシュボードで可視化された各種データとロジックモデルを用いて、市町村担当者が課題を把握・整理し、課題を踏まえた取組を強化する

講義①　**ナッジで住民の行動を変える！行動科学的アプローチの健康づくり支援への活用**
講師：溝田 友里 先生（静岡社会健康医学大学院大学 准教授）

講義②　**がん検診受診率・精密検査受診率向上策 ベストプラクティス集の紹介**
講師：国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部（中山富雄先生・太田美幸先生）

講義③　**ロジックモデルとがん検診等関連データの活用**
講師：埴岡 健一 先生（国際医療福祉大学大学院 教授）

ワーク①　**地域診断（ロジックモデルに紐付くデータから課題を把握する）**
講師：埴岡 健一 先生

ワーク②　**個別施策の検討（把握された課題の解決に向けて）**
講師：埴岡 健一 先生

※各府県とも半日（約4時間）で実施。開催時間は府県により異なる。